●広報座談会……明日の南国を考える

小笠原市長

橋本議長

「20歳」を迎えた〝南国市〟――山積みされた行政の諸問題について少しでも知っていただこう、また青年に行政とのかかわりを深めていただこうと、各地区青年団のみなさんにお集りいただき、小笠原市長、橋本議長を囲んで話し合っていただきました。

■本日はお忙がしいところご出席くださいましてありがとうございます。南国市もやっと成人式を迎えることになり、これからさらに飛躍発展をするために、明日の南国市を考えてみようと計画しました。そこで話し合いに入る前に唐岩企画財政課長から現在の行政の問題点や将来の計画の概略について説明を受けたいと思います。

■市政の柱である空港、財政、同和の三つの問題の中で、まず空港は、いろいろな問題を残しながらも拡張整備にむけて進んでいます。

財政は、順調に表面的な赤字は解消しているものの、開発公社に残された赤字がたくさんあり、引きつづき再建を続けていきます。

同和については、特別措置法が三年延長になり残された問題について継続的に取り組んで行かなければならないと考えます。

次に将来の計画ですが、都市計画では十市右土地周辺のパークタウンは約九二ヘクタールで千六百戸、六千人の入居者が予定され、学校、保育所などの計画もあり、60年完成を目ざしていますが遅れそうです。土佐山田町―南国市―高知市東部を結ぶ広域下水道計画が県によって計画されています。

医大は、六百人の学生が6年間就学し、人口の増加と周辺の整備の状況から将来周辺は市街化区域になることが予想されます。

四国横断自動車道は、大豊―南国間二十三キロメートルが昭和60年開通予定です。さらに、国道32号線と55号線を結ぶ東バイパス道路、大津バイパスと土佐山田町を結ぶ都市計画道路、国鉄阿佐線なども計画されています。

■最近の若い層の政治経済に対する意識調査があります。その中で、政治経済に無関心が80％、政党支持をしないが54％など無関心派が多いように思われますが、みなさんは、市政ではどんなことに一番関心がありますか。また、南国市は他の市町村とくらべてどうちがうとお考えですか。

□開発が他市などに比べるとまだまだ遅れていると思います。南国市も除々には進んでいますが、有効に利用できる土地はもっと開発を進めていくべきではないでしょうか。

□財政のことです。南国市は地理的にも高知市に隣接し、有利なところにあると思うんですが、財政は赤字……。あまり高知市にたよりすぎて、かえってまとまりがなくなっているのでは。

□比江山問題。運動公園でも木材団地でも、地区に公害をおよぼさなければいいと思いますが。

□空港拡張問題やパークタウンなどが関心事です。

□スポーツや文化などの施設面を充実させてほしいですね。

□他市にくらべて南国市は税金が非常に高いとのこと。一日も早く財政の建て直しを望みます。

□現在行っているゴミの収集。農家など自家処理できる人まで、集めてくれるからといって出しているのが現状。処理できる家庭は自家処理してもらい、処理できない家庭について収集していくという方法にしてはどうでしょうか。

□道路の整備、特に南北の交通の便が悪く、ぜひ早急に幹線道路がほしいですね。

□行政はもっとお金のとれることをすべきだと思います。例えば、企業の誘致なんか。むろん公害問題も考えなくてはなりませんが。

□これからの南国市は、農業は現状のままで、商工業が盛んになるんじゃないでしょうか。

■若い人たちの行政に対する関心度はどうでしょうか。

□あまり関心がない、というのが本音です。

□まだまだ低いと思います。

■みなさんは日頃、青年団活動で活躍されていると思いますが、活動されてどうですか。

□地域の同年輩の人たちと知り合える。地区のために何かできるのでは……。

□自分も成人式に参加して先輩に祝ってもらった。今後自分たちの手で後輩たちを祝福してやりたい。

□同年輩の人たちだけでなく、敬老会や運動会などの手伝いを通じて先輩の人や、職業の違うさまざまな人とも知り合えます。

□大勢のなかで意見を言えるようになりました。

■みなさんの生きがい、目標は。

□一つの仕事を完成させたい。現在の農業を一生の仕事としてやっていきたい。

□青年団活動と仕事を両立させ、もっと幅広い活動をしていきたい。

□現在、造園の仕事をしていますが、好きで選んだ職業です。これからも頑張っていきたい。

◇……出席者のみなさん

土居　芳朗さん（十市）

溝渕ゆかりさん（里改田）

小松　信介さん（立田）

藤村　治さん（岡豊町八幡）

岡本真由美さん（比江）

山本　幸輝さん（奈路）

□働きに出ず家でできるような仕事を持ちたい。青年時代の積み重ねによって、有意義な老後が送れれば。

□やはり健康であることが一番です。

■それでは市長からお言葉をいただきたいと思います。

■さきほど課長から説明があったので、私からは将来の輝やかしい歴史をつくるために、条件の整った南国市が何を行ない、何に心がけなければならないか話してみたいと思います。

①文化・教育面の充実②基盤整備や農業施設の充実③上下水道の整備④工場の誘致や産業開発などに取り組めば、おのずと発展の方向に進むと考え、社会福祉の充実、市街地の整備、公害防止対策、保健衛生、道路網の整備（特に南北道路）なども図らなければなりません。

開発と自然保護については、南国市の場合は自然をあまり破壊しなくても開発が可能であると考えます。ロマンを含めた話ですが、南国市は将来性に富んだ市であると考え、いろいろな問題はありながらも、マイナスの宿題はないように思います。

なごやかな市づくりを推進して行くために大切なものは、教育だと思います。教育の中でも①健全な身体づくり②忍耐力を養う③倫理観念を養う④学問の順で良いと思います。

またこれらを支えるものは経済ですので、経済の発展がなくてはならないと考えます。

市の発展のもう一つの要素として、職員の心がまえが大切で①法律にみ合った確信ある仕事②予算のうらづけ③教養を身につけ経験を生かすなどの努力も必要です。

■次に、議長さんにお言葉をいただきたいと思います。

■南国市の議長として、議会のはたす役割と執行部のはたす役割について簡単に述べてみたいと思います。

①地方公共団体は地方自治法によって運営され、執行権と議決権とに分離されています。執行者が提案した議案を議会において審議し、可決されたものについてのみ執行されることになるので、議会の果たす役割は非常に大きいと思います。②みなさん方の日常生活と政治は今や密接な関係になっていると思います。そこで、南国市の財政の健全化を確立しないと、みなさん方のいろいろな要求に対処できないので執行部も議会も努力しています。③文化、交通の要衝は昔から栄えているとおり、南国市も道路網の整備をし、経済の発展を促さなければならないと考えます。このことが市民の家庭生活の向上につながると思います。④さきほどから聞いていると、政治に無関心ということですが、市政にかかわりを持つことを心がけられて、主権在民の精神を生かす意味で若者も深い関心を持ってほしい。

■若い人は夢を持つように心がけ市政に対して無関心でなくて、もう一度考え直してほしいと思います。青年団活動を通じて市政に関心を持ちながら、南国市にプラスになるようこれからもお願いします。

時間の関係で十分な話ができなかったことが残念ですが、これを機会にこのような会を開いて交流を密にして行きたいと思います。多少なりともみなさんとともに勉強できたことに意義があったと思います。

本日は、ありがとうございました。